

プレスカウンター マネージングシステム  
PSC-FX01  
取扱い説明書



このマニュアルは常にお手元に置いてください。

---

株式会社コスモネット

【本社】 〒144-0053 東京都大田区蒲田本町 2-4-2-2F  
TEL: +03-5744-6626  
Web : <http://www.cosmonet-jp.com>  
E-mail: [info@cosmonet-jp.com](mailto:info@cosmonet-jp.com)

【三重営業所】 〒510-0831 三重県四日市市西伊倉町 3-3  
TEL: 059-327-5841

## 目次

---

|     |           |    |
|-----|-----------|----|
| 1.  | 改訂履歴      | 3  |
| 2.  | はじめに      | 4  |
| 3.  | 動作環境      | 4  |
| 4.  | インストール    | 6  |
| 5.  | ソフトウェアの起動 | 7  |
| 6.  | 機能概要      | 9  |
| 7.  | ホーム       | 10 |
| 8.  | デバイス設定    | 14 |
| 9.  | データ検索     | 17 |
| 10. | サーチ機能     | 18 |
| 11. | 高度な分析     | 19 |
| 12. | 設定        | 20 |
| 13. | 保証        | 29 |
| 14. | お問い合わせ    | 29 |

## 1. 改定履歴

---

| No | 日付   |   |   | 改定内容 | 備考 |
|----|------|---|---|------|----|
|    | 年    | 月 | 日 |      |    |
| 1  | 2025 | 5 | 2 | 初版   |    |
| 2  |      |   |   |      |    |
| 3  |      |   |   |      |    |
| 4  |      |   |   |      |    |
| 5  |      |   |   |      |    |
| 6  |      |   |   |      |    |
| 7  |      |   |   |      |    |
| 8  |      |   |   |      |    |
| 9  |      |   |   |      |    |
| 10 |      |   |   |      |    |
| 11 |      |   |   |      |    |
| 12 |      |   |   |      |    |
| 13 |      |   |   |      |    |
| 14 |      |   |   |      |    |
| 15 |      |   |   |      |    |
| 16 |      |   |   |      |    |
| 17 |      |   |   |      |    |
| 18 |      |   |   |      |    |
| 19 |      |   |   |      |    |
| 20 |      |   |   |      |    |

## 2. はじめに

---

本マニュアルは、プレスカウンター用ソフトウェア” PSC-07FX” の使用方法を記載したマニュアルとなります。本書の前に、プレスカウンター” PSC-07MTL” のマニュアルをご一読ください。ご使用にあたり、本取扱説明書を十分にご理解頂き、特に注意事項については必ずお守りくださいますようお願い致します。また、本取扱説明書をお読みになった後も常にお手元に置きいつでもご参照できるようにして下さい。

また、本機器を初めてお使いになる際には、各部品が揃っているか、輸送中における破損が無いかご確認下さい。万一欠品などがございましたら、お買い上げの販売店または当社へご連絡下さい。

## 3. 動作環境

---

インストールされる PC の推奨スペックは以下の通りです。

### 3-1. OS

Windows10 / Windows11 (32bit もしくは 64bit)

### 3-2. CPU/メモリ

プロセッサ：1.6GHz 以上 RAM：2GB 以上 空き容量 3GB 以上

ハードディスク：10GB 以上の空き容量のあるハードディスク

USB2.0 ポート：1 つ以上

## 4. インストール

- ❗ CD もしくはデータで送付済みの純正インストーラーをご使用ください。
- ❗ インストールは管理者権限のあるアカウントで行ってください。

### 4-1. ソフトウェアのインストール

- 4-1-1. 付属の PSC-FX Checker にて、32bit 版もしくは 64bit 版のどちらに適応しているかご確認ください。OK と表示されたバージョンのソフトウェアをインストールしてください。



PSC-FX Checker

- 4-1-2. 配布が zip ファイルの場合は解凍を行った後に、インストーラーをクリックし“管理者として”実行”を行ってください。

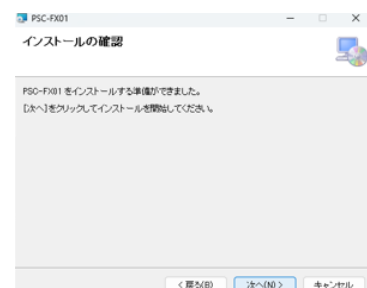
- 4-1-3. セットアップウィザードに従って進めてください。



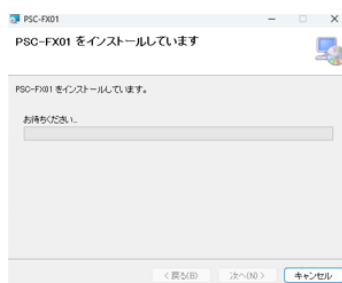
次へを押してください。



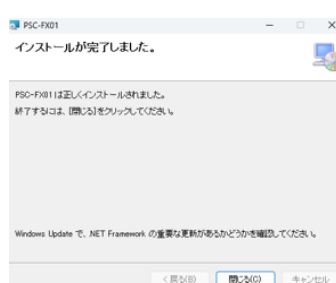
設定確認後に、次へを押してください。



次へを押してください。



インストール中です。

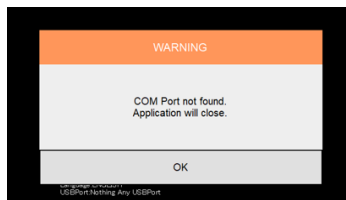


インストール完了です。

## 4-2. ドライバーのインストール

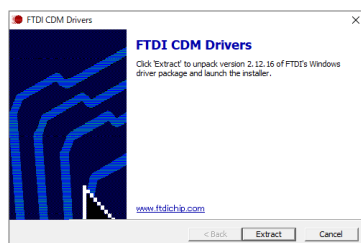
### 4-2-1. USB ドライバー

⚠ USB ケーブルで PC/T と PC を接続し、以下のエラーが出た際に、このドライバーのインストールが必要となります。



USB ポート認識エラー

配布ファイルの DriverFile 内に含まれている”USB Driver”ファイル内の”CDM212364\_Setup”を右クリックし、管理者として実行を行ってください。FTDI のインストールウィザードに従って進めてください。



USB ドライバーインストールウィザード

### 4-2-2. データベースドライバー

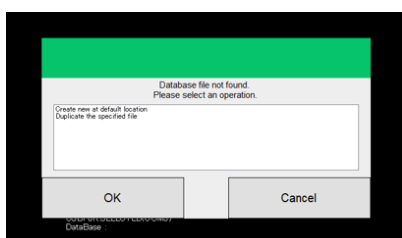
データベース認識用のドライバーです。上記の PSC-FX Checker にて判定されたドライバー (32bit or 64bit) をインストールします。

配布ファイル内の”DataBaseDriver”ファイル内にデータベース用のドライバーが存在します。

“管理者として実行”を行い、ウィザードに沿って進めてください。

## 4-3. 初回起動時

データベースの引継ぎ設定を行う画面が表示されます。初回起動時は、”Create new at default location”を選択してください。データベースの保存先が表示されるので、OK を押してください。



初回起動時画面



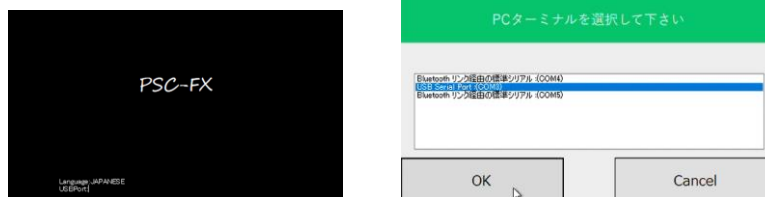
データベース保存先

## 5. ソフトウェアの起動

1. 以下のアイコンをダブルクリックすることにより、ソフトウェアが起動します。

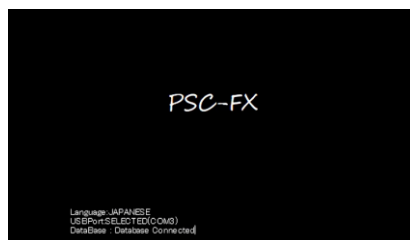


2. スプラッシュスクリーンが立ち上がり、PC ターミナルを接続するポートの選択画面となります。  
PC ターミナルが接続されているポートを選択し、OK を選択してください。

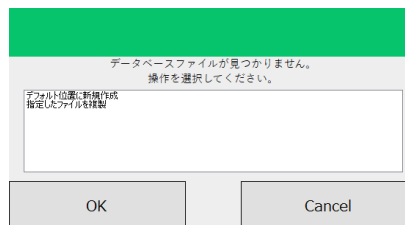


- ⚠ PC ターミナルが接続されているポートは、デバイスマネージャーから確認してください。
- ⚠ 接続されているポートがリスト上に表示されない場合、PC ターミナルが認識されていません。4 項のドライバーのインストールを確認してください。

3. ポートの接続、データベースへの接続が問題ない事を示すメッセージが表示された後にソフトウェアが立ち上がります。



- ⚠ データベースが見つからない場合、以下の 2 種類の方法によりデータベースと接続を試みます。



### 3-1. デフォルト位置に新規作成

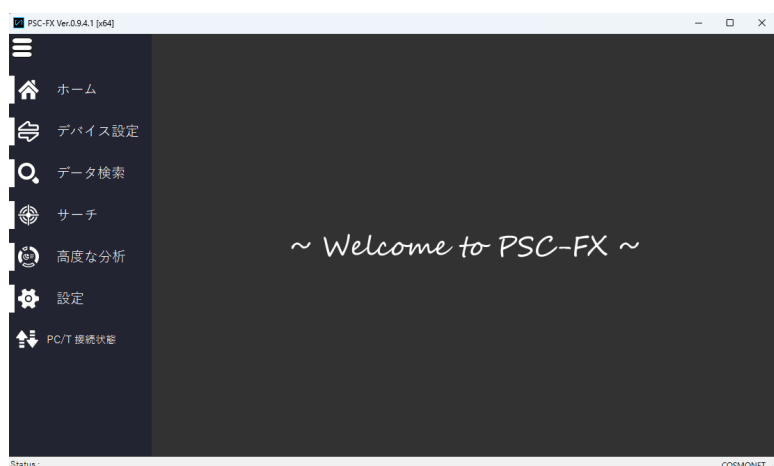
データベースを新たに構築します。選択をして OK を押すと、以下のようなメッセージが表示されます。(PATH 以降には、保存先が表示されます)



### 3-2. 指定したファイルを複製

データベースファイルを指定して、初期位置に複製します。ファイルの保存先を指定してください。形式が異なるファイルは選択できません。また、必ず本システムで生成されたファイルを選択してください。

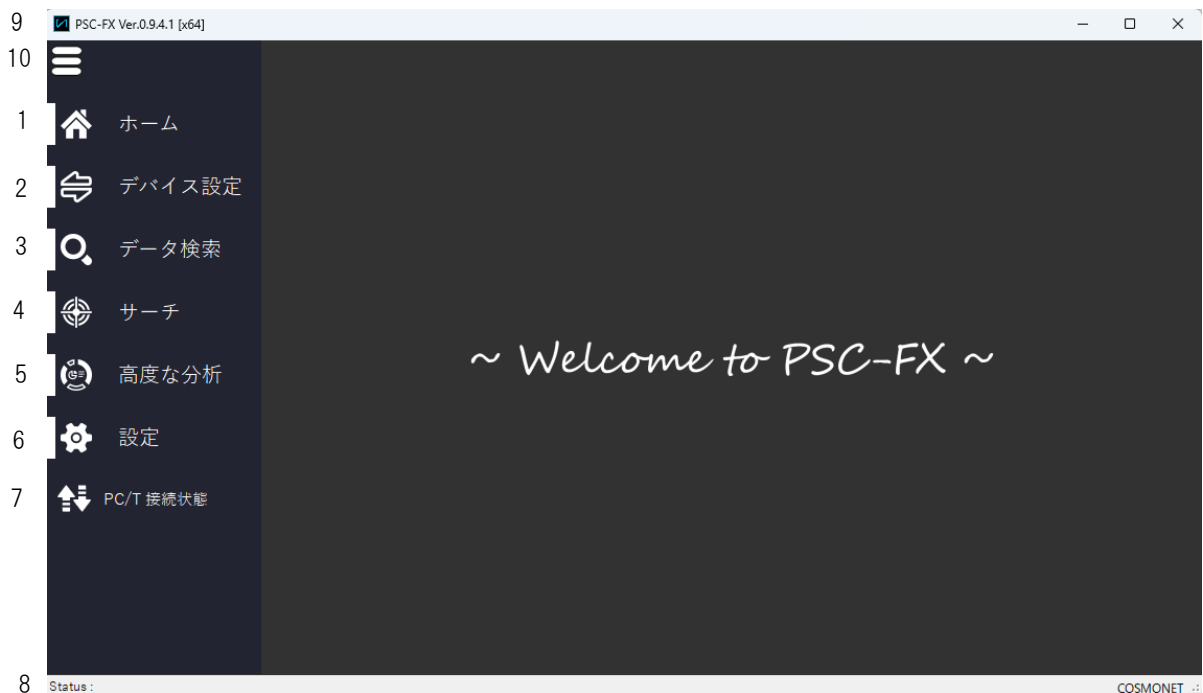
4. 以下の画面が表示されると、起動完了となります。



起動完了画面

## 6. 機能概要

各種機能を説明します。



### 1. ホーム

データベースや警告を表示するダッシュボードです。

### 2. デバイス設定

デバイス（プレスカウンター:PSC-07MTL）のパラメーター設定・登録を行います。

### 3. データ検索

データベース内のデータを検索・絞り込みを行います。

### 4. サーチ

ハンディターミナルを用いてサーチを行う、サーチ機能の設定を行います。

### 5. 高度な分析

稼働率のモニタリング結果を表現します。

### 6. 設定

ソフトウェアやハードウェアの各種設定を行います。

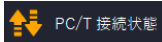
### 7. PC/T 接続状態

PC/T の接続状態を表示します。アイコンが白色の場合は、PC/T を認識しています。

グレーの場合は、認識できていません。再接続処理を行ってください。また、ソフトウェア起動後に PC/T との接続が解除されると、警告が表示されます。PC/T を使用中は、アイコンがオレンジ色となります。

⚠️ PC/T はソフトウェア立ち上げ後に、抜き差ししないでください。PC/T 使用中（オレンジアイコン）の際に、接続を解除するとデータが欠損し、システムダウンの原因となります。

PC/T を認識していない状態： 

PC/T：使用中： 

接続が切れた際の警告：  


## 8. Status

ハンディターミナルからのデータ通信時などの PC/T が関係する動作において、状態を表示します。

## 9. バージョン

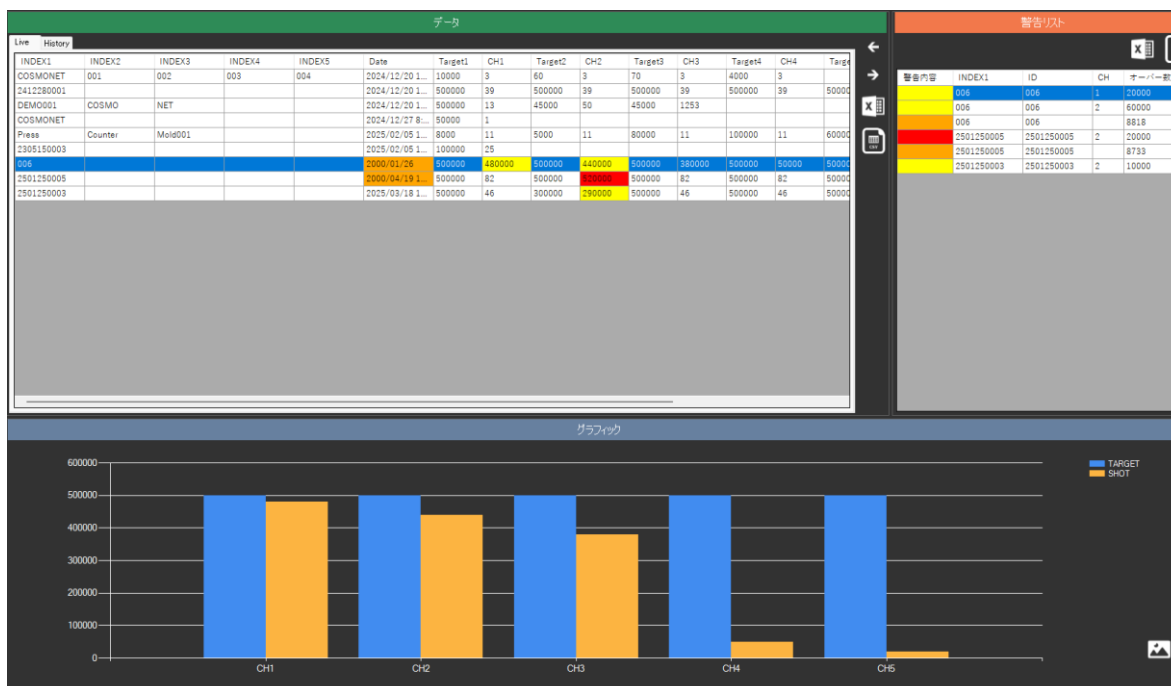
ソフトウェアのバージョンを表示します。

## 10. 表示切り替え

アイコンのみの表示と、アイコンと機能説明の表示の切り替えを行います。

# 7. ホーム

データベース、警告リスト、グラフィックを確認する画面です。



## 7-1. データ

登録されているプレスカウンターのデータベースを表示します。1 行にプレスカウンター1 個分のデータが表示されています。

Live タブはプレスカウンターの最新データ、History タブは過去のデータを表現します。

警告対象のセルは、警告を意味する色でハイライトされます。

リセット履歴は、History タブ上で青色にハイライトされます。

- |                                                                                   |                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
|  | インデックスの表示数を減らします。(最小インデックス 1 のみ表示)          |
|  | インデックスの表示数を増やします。(最大インデックス 5 まで表示)          |
|  | データを Excel 形式でエクスポートします。(Office 搭載 PC のみ対応) |
|  | データを CSV 形式でエクスポートします。                      |

行状で右クリックを行うと、以下の選択肢が表示されます。

○サーチ条件へコピー

サーチ条件へコピーします。詳細は、” 10. サーチ機能” を参照してください。

○行の削除

対象のデータが削除されます。パスワード入力が必要です。

⚠ 削除されたデータは復元できません。

### 語句の意味

○Index1~5: プレスカウンターを識別するために任意で設定可能なスペースです。英数字で最大 16 文字まで設定可能です。

○Date: 更新された日付です。

○Target1~16: ターゲットショット数です。このショット数に近づく、もしくは超えると警告を表示します。

○CH1~16: 管理を行うチャンネル数です。ショット管理を行う部品数分の CH をご使用ください。

### 警告の種類

以下の警告リストを参照してください。

## 7-2. 警告リスト

左のデータより、警告を抜粋しリスト化します。警告には以下の種類が存在します。

| 警告           | 色                                                                                 | 内容                                             | 対応                             |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------|
| カウント<br>事前警告 |  | ターゲットショット数に対し、警告パーセンテージ（初期値:90%）以内に近づくと表示されます。 | 対象部品の交換、もしくは交換準備               |
| カウント<br>オーバー |  | ターゲットショット数を超過しています。                            | 対象部品の交換と対象CHのリセット              |
| 日数超過         |  | 最後のデータ更新から既定日数（初期値:30 日）更新されていない事を示します。        | 更新、もしくは機能オフ。                   |
| 電池消耗         |  | 電池が消耗しています。                                    | 新しいデバイスをご準備頂き、データの引継ぎを行ってください。 |

また、それぞれのアイコンを押下することで Excel、CSV 形式への保存が可能です。



警告リスト内のデータをダブルクリックすると、データベース内の対象データがハイライトされます。

## 7-3. グラフィック

青色のグラフがターゲットショット数、オレンジ色が現在のショット数を表し、視覚的に残ショット数を表現します。データベースのデータをダブルクリックすることにより、切り替えます。



アイコンを押下すると、クリップボードにグラフをイメージとしてコピーします。

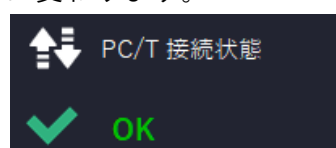
## 7-4. ハンディターミナルからの通信

ハンディターミナルからデータ通信が行われた場合に、Live タブ、History タブ共にデータが更新されます。データ更新中は画面左のタブ内にデータ受信・処理中を示す Receiving... と表示されます。



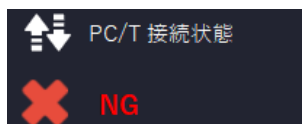
データ受信・処理中

データ処理が終了すると、OK 表示に変わります。

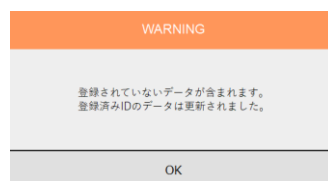


データ処理完了

ハンディターミナル内に登録されていないプレスカウンターが含まれている場合、NG 表示となり、警告が表示されます。未登録のプレスカウンター以外のデータは更新されています。



データ処理 NG 表示



未登録デバイスを検知

## 8. デバイス 設定

プレスカウンターの登録や、データの編集を行います。プレスカウンターを PC/T の前に置いて、READ ボタンを押下すると、プレスカウンター内のデータが反映されます。ソフトウェア上で、データ編集を行い、その後 WRITE ボタンを押すと、プレスカウンター内のデータが書き換えられ、データベースに登録、更新されます。

### 8-1. 運用フロー

Step 1: プレスカウンターの通信面と PC/T の通信面を向かい合わせにした状態で、PC/T 前に置いてください。このプレスカウンターは全ての処理を終えるまで、動かさないでください。

- ❗ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ❗ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。

Step 2: Read ボタンを押下し、プレスカウンター内部のデータを読み出してください。  
読み取りが完了すると、Staus の表記が読み取り中>完了に変わり、各項目のデータが書き換わります。

Step 3: 任意でデータ編集を行ってください。

Step 4: WRITE ボタンを押下し、プレスカウンター内のデータ編集とデータベースへの登録、更新を行ってください。

- ❗ 通信が完了するまで、プレスカウンターと PC/T は動かさないでください。

Step 5: 通信が完了すると、メッセージが表示されます。混信や障害物、通信面が正しく向かい合っていない場合は、警告メッセージが表示されます。その際は、再度 STEP4 から実行してください。



通信完了メッセージ



通信エラー

## 8-2. 各項目詳細



### 1. ID

各デバイスの ID を規定します。出荷時に割り振られており、変更できません。

### 2. インデックス

5 項目まで任意で変更可能です。英数字で 16 文字まで記入可能です。使用しない場合は空欄にしてください。インデックス 1 のみハンディターミナル上で表示されます。

### 3. 使用 CH 数

管理する CH（チャンネル）数を規定します。CH には個別にターゲットショット数を設けて管理を行います。最大 16CH まで任意で設定可能です。

### 4. LED 点滅設定

ターゲットショット数を超過した際にデバイス内の LED を点滅させて、通知する機能です。ON にすると、警告時に LED 点滅が行われます。警告解除時に LED 点滅も終了します。

 本機能をアクティベートすると、LED 点滅により電池の消耗を早めます。

### 5. ターゲットショット

各 CH のターゲットショット数を設定します。最大値は 8,000,000 です。

このショット数が基準となり、警告を表示します。

例：警告ショット数 500,000、警告パーセンテージ 90%の場合

450,000 ショットで黄色警告、500,000 ショットで赤色警告

## 6. ショット数調整

設定されたショット数からカウントを始める機能です。アイコンを押下するとパスワードを求められます。

## 7. メモ/稼働モニター機能

この項目では、メモ機能もしくは稼働モニター機能のどちらかが選択可能です。選択時にパスワードが求められます。

### ○メモ機能：

任意で英数字の記入が可能です。最大 1000 文字まで記入が可能です。テキストボックス内に記入を行ってください。ハンディターミナルでデバイスを読み取った際に、ハンディターミナル上でデータの確認が可能です。

⚠ 文字数が多い場合、全ての通信時間が長くなります。

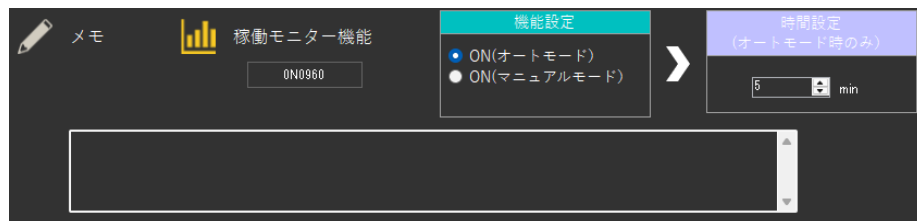
⚠ 文字数が多い場合、電池の消耗を早めます。

### ○稼働モニター機能：

連続して稼働した時間内のショット数をデバイスに記憶させて、データ回収後に表示します。設備停止の判定を行う時間を設定可能です。規定された時間の間、カウント検知が行われない場合に停止と判定します。（最大誤差：2 分 30 秒）設備開始から設備停止までを 1 区切りとし、最大 40 区切りのデータがデバイス内に記憶されます。40 区切りを超えたデータは、上書きを行います。収集したデータは、” 高度な分析 ” 機能で確認します。

⚠ 本機能は電池の消耗を早めます。

⚠ 本機能をアクティベートすると、メモの内容が消去されます。



### a) オートモード

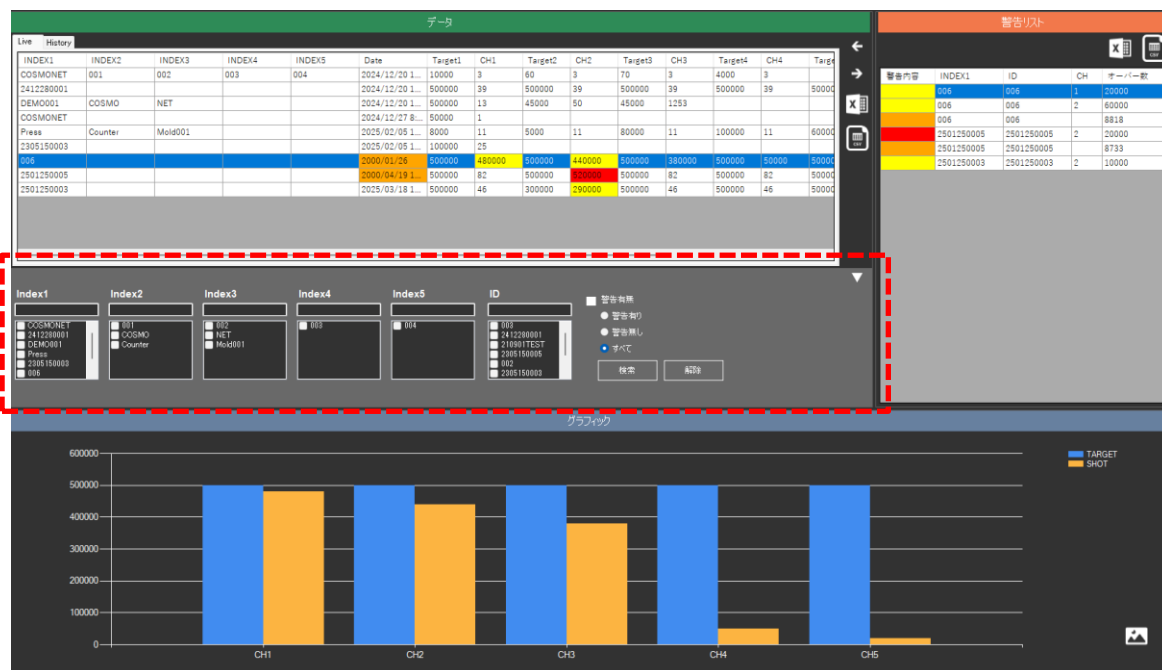
ON（オートモード）にチェックを入れ、時間設定を行ってください。1～273 分の間で設定可能です。

### b) マニュアルモード

ON（マニュアルモード）にチェックを入れると、ハンディターミナルで読み込みを行った時間から、再度読み込みを行った時間までのショット数を保存します。

## 9. データ検索

データベース内のデータを検索、絞り込みを行います。



赤破線で示した検索タブが追加され、検索条件によりデータの絞り込みが行われます。検索結果はデータベース表示部に反映されます。

検索可能な条件は Index1～5、ID、警告有無です。検査状態をクリアにする場合は解除ボタンを押してください。

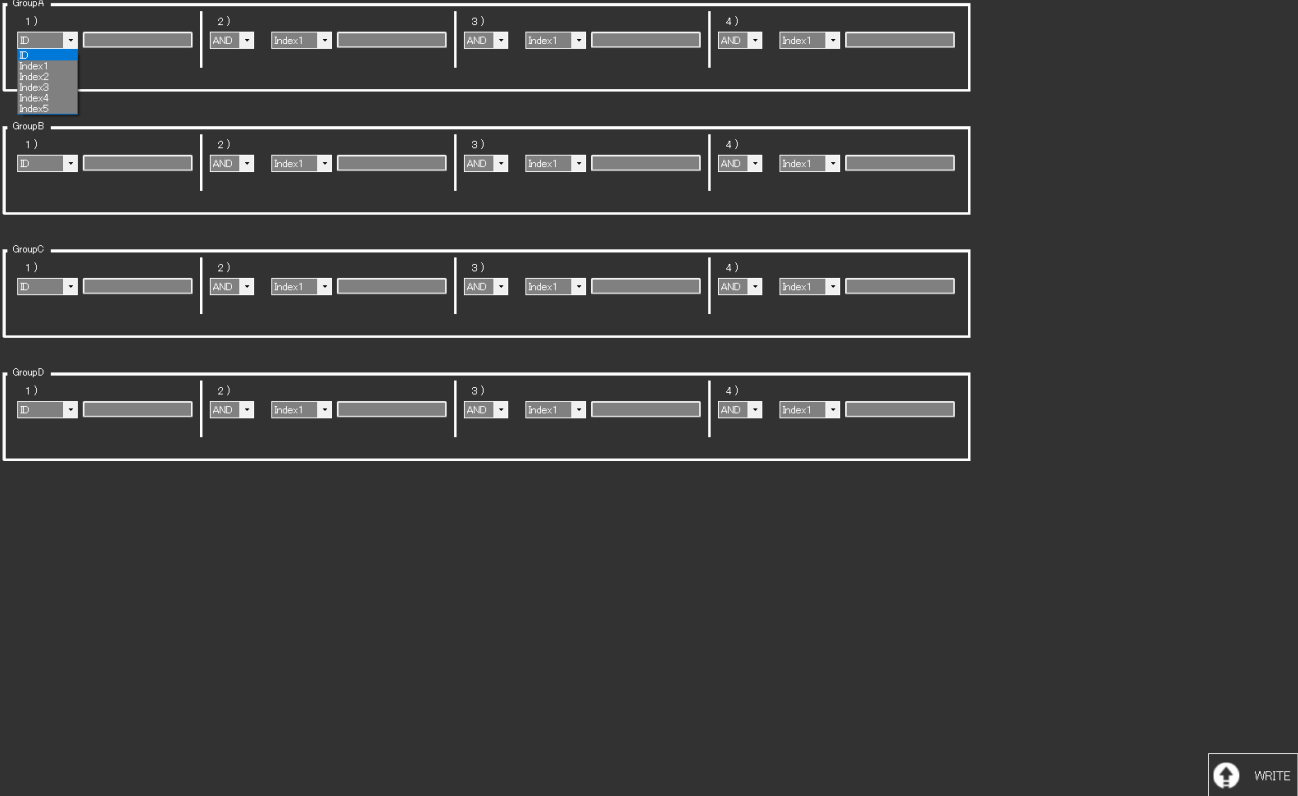
💡 Index 表示部のテキストボックス内に文言を入れて検索を行う事も可能です。

💡 テキストボックス内はサジェスト機能を搭載しています。

💡 検索は AND 検索です。

## 10. サーチ機能

ハンディターミナルを使用して、サーチを行います。この機能ではサーチ条件の設定を行います。サーチ機能に関しての詳細は、プレスカウンターPSC-07MTLのマニュアルをご参照ください。

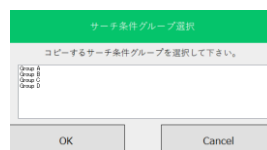


A～D までの各 Group の設定を行います。

コンボボックス内の矢印を押下すると ID、Index1～5 まで表示されます。任意で検索条件を選択してください。それぞれの検索条件間に AND, OR の選択肢が存在します。検索条件として適切な方を選択してください。

⚠ 検索条件の ID は、条件 1) でのみ選択可能です。

ホーム画面のデータベース上で右クリックを行い、“サーチ条件へコピー”を選択すると、選択条件を任意のグループにコピーします。



サーチ条件のコピー先選択画面

ハンディターミナルの通信面と PC/T の通信面を向き合わせた状態で WRITE ボタンを押してください。

- ❗ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ❗ 本作業中に、PC/T とハンディターミナルの間に障害物を設置しないでください。

## 11. 高度な分析

稼働モニター機能がアクティベートされているデバイスの結果を確認します。

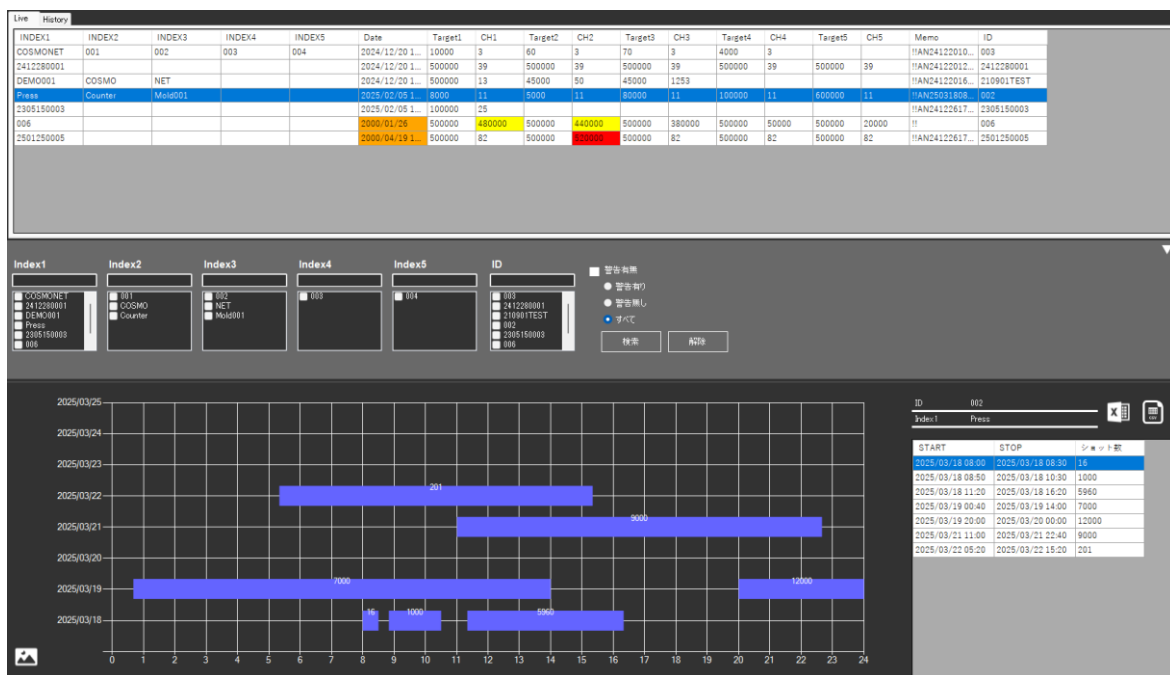
稼働モニター機能のアクティベートに関しては、8 項を参照してください。

上部のデータベース上で対象のデバイスをダブルクリックしてください。下部のグラフに稼働時間とその間のショット数が表示されます。

この機能は、Live シート、History シートの双方でご利用いただけます。

❗ アクティベートされていないデバイスは、グラフが表示されません。

💡 グラフ内の  を押下すると、グラフがクリップボードに保存されます。



詳細データは、グラフ右のシートにて確認します。このシートは、アイコンを押下する事で、Excel (Office 搭載 PC のみ対応), CSV 形式で保存可能です。

## 12. 設定

システムやデバイスの各種設定を行います。



### 12-1. ハードウェア

#### 12-1-1. ポート再接続

ソフトウェア起動後に PC/T の接続が解除された際のポートの再接続を行います。  
USB ケーブルと、PC/T が接続されている事を確認し、実行してください。

⚠️ ポートは立ち上げ時に選択したポートが設定されます。ポート番号を変更する場合は、再起動を行ってください。

PC/T 接続状態のアイコンが黄色>オレンジ色と変化し、白色になれば、接続完了です。  
灰色の場合は、接続不可となります。ポート接続に失敗した場合、以下のような警告が表示されます。



通信失敗の警告

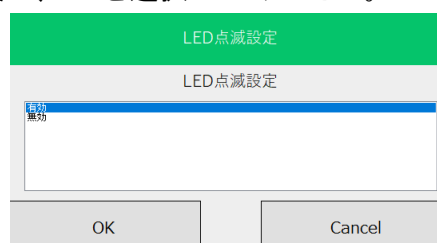
## 12-1-2. LED 点滅設定

デバイスの LED 点滅の設定を個別に変更します。この設定は、デバイス設定(8 項. デバイス設定)から行う設定と同様です。

対象となるプレスカウンターを、互いの通信面を向かい合わせて PC/T の前に置いてください。

- ❗ 本機能をアクティベートすると、LED 点滅により電池の消耗を早めます。
- ❗ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ❗ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。
- ❗ パスワードが求められます。

有効/無効の選択を行った後に、OK を選択してください。



有効/無効選択画面

通信が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



通信完了

通信が完了しない場合、エラーメッセージが表示されます。周辺環境を再確認し、再度ください。通信が完了しない限り、設定は変わりません。



通信エラー

### 12-1-3. データ移行

プレスカウンターの電池残量が少なくなった際に、デバイス間でデータの意向を行い、クローンを作成します。

- ❗ パスワードが求められます。
- ❗ オリジナルのデバイス（コピー元）と新規デバイス（コピー先）の 2 種類をお手元に必ずご準備のうえで、実行してください。
- ❗ オリジナルのデバイスはクローン作成後に、システム上で使用できなくなります。

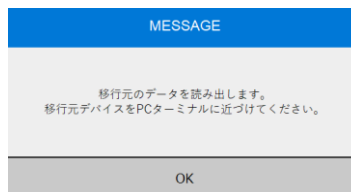
Step 1: PC/T の前にオリジナルのデバイスを、通信面を向かい合わせて置いてください。

- ❗ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ❗ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。

Step 2: 表示されるメッセージ” デバイスのデータ移行処理を開始しますか?” にて、OK を押し、次に表示されるメッセージも Step1 の状態を確認したうえで OK を押下してください。



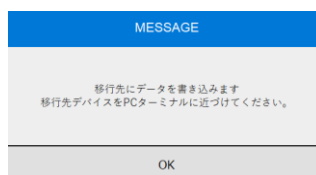
#### データ移行の開始



#### データ移行開始

Step 3: コピー先（移行先）のデバイスを PC/T と向かい合わせの状態置いてください。その後、OK を押下してください。

- ❗ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ❗ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。

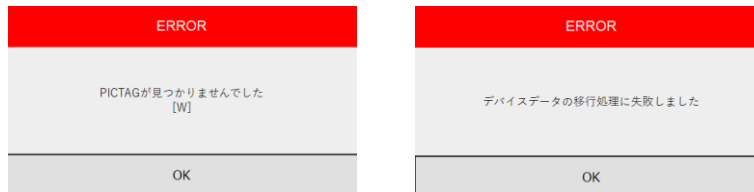


#### コピー先のデバイス

Step 4:オリジナル（コピー元）の混在を防ぐために、ID を無効化します。オリジナル（コピー元）のデバイスを PC/T の前に向かい合わせで置いてください。

- ⚠ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ⚠ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。
- ⚠ オリジナルのデバイスはクローン作成後に、システム上で使用できなくなります。

Step 5:デバイスのデータ移行が完了するとメッセージが表示されます。通信中にエラーが発生すると、メッセージが表示されます。Step1 から再度行ってください。



通信エラー

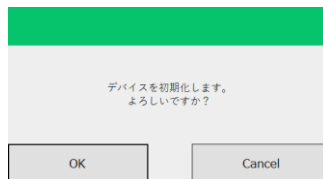
#### 12-1-4. デバイス初期化

デバイスを出荷状態と同様の初期化を行います。

- ⚠ 削除されたデータは復元できません。
- ⚠ パスワードが必要です。

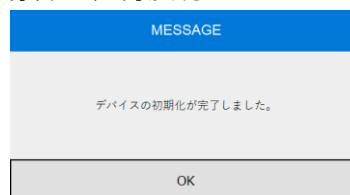
Step 1:初期化するデバイスを PC/T と向かい合わせてください。アイコンをクリックすると確認用のメッセージが表示されます。

- ⚠ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ⚠ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。



初期化のメッセージ

Step 2:OK を押すと初期化を行います。初期化が完了した後に、メッセージが表示されます。通信エラーの場合は、再度行ってください。



初期化完了メッセージ

## 12-1-5. ショット数オールリセット

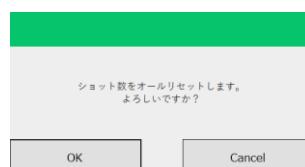
全ての CH のショット数をリセットします。

- ⚠ 削除されたショット数は復元できません。
- ⚠ パスワードが必要です。

Step 1: 対象デバイスを PC/T と向かい合わせて置いてください。

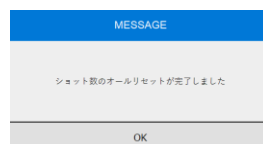
- ⚠ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。
- ⚠ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。

Step 2: 確認メッセージの OK を押してください。



確認メッセージ

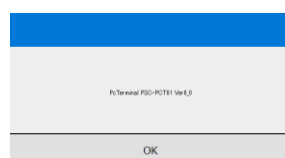
Step 3: 完了メッセージが表示されると、オールリセットされています。通信エラーの場合は、再度行ってください。



完了メッセージ

## 12-1-5. PC/T Ver

PC/T のバージョンを確認します。PC/T が接続、認識されている状態でアイコンをクリックすると、バージョン名が表示されます。



PC/T バージョン

## 12-1-6. 稼働モニター機能

稼働モニター機能の ON/OFF が可能です。稼働モニター機能の詳細は 8 項を参照してください。

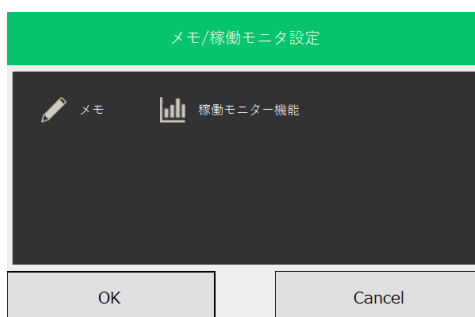
⚠ パスワードが必要です。

Step 1: 対象デバイスを PC/T と向かい合わせて置いてください。

⚠ 混信を防ぐために、PC/T の前には他のデバイスを置かないでください。

⚠ 本作業中に、PC/T とプレスカウンターの間に障害物を設置しないでください。

Step 2: メモもしくは稼働モニター機能の片方を選択します。



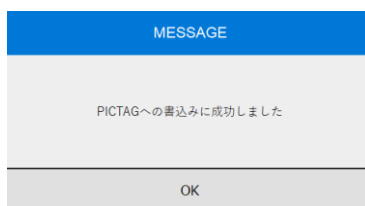
選択画面

Step 3: 稼働モニター選択時は各種パラメーターを設定してください。稼働モニターをオフにする場合は、メモを選択してください。



選択画面

Step 4: 書き込みが完了すると、メッセージが表示されて終了となります。通信エラーの場合は、Step1 から再度実行してください。



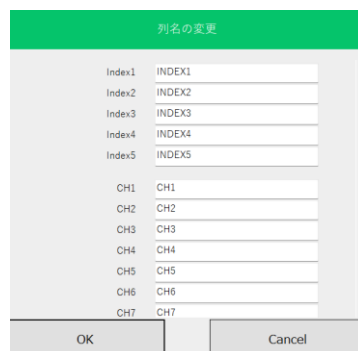
書き込み完了メッセージ

## 12-2. システム

### 12-2-1. 列名の変更

列名の変更が任意で行えます。変更後、OK を押すとデータベースに反映されます。

⚠ パスワードが必要です。



変更画面

### 12-2-2. 警告パーセンテージ

警告パーセンテージを変更可能です。初期値は 90%です。

⚠ パスワードが必要です。

⚠ 運用後に警告パーセンテージを変更する場合、過去のデータとの整合性が取れなく可能性にご留意ください。

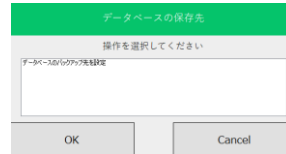
💡 警告パーセンテージとは、ターゲットショット数に対して警告パーセンテージ以上のショット数となった場合にシステム上で警告を表示（黄色）します。

例：ターゲットショット数が 100,000 で警告パーセンテージが 90%の場合、  
90,000 ショット以上になると警告を発出します。

💡 警告パーセンテージは 0～99%の間で設定可能です。

### 12-2-3. 保存先の追加

データベースの保存先を追加し、バックアップの作成が可能です。バックアップファイルはシステムシャットダウンの度に生成されます。データベースのバックアップ先を選定を選び、OK を押してください。その後、任意の場所をご選択ください。



保存先の追加

### 12-2-4. 警告日数の設定

警告日数の設定を行います。0～365 の間で設定可能です。0 を選択した場合は、機能オフとなります。

⚠ パスワードが必要です。

### 12-2-5. データベース移行

History シートのデータを別ファイルに移行します。移行されたデータはソフトウェア上から切り離され確認できません。Access ファイルとして閲覧、編集は可能です。(Office が必要です。)

”新規にデータベースファイルを作成”を選択後、OK を押下してください。

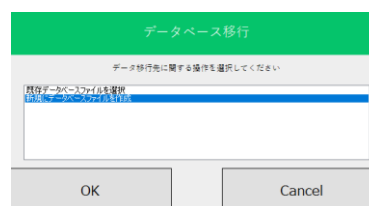
⚠ パスワードが必要です。

⚠ 移行先のデータは、ソフトウェア上で確認できません。また、移行後 History データは空になります。

💡 データ過多により、ソフトウェアの起動や動作が遅い場合に有効な手段です。

Step 1: ”新規にデータベースファイルを作成”もしくは“既存データベースファイルを選択”を選択し OK を押してください。

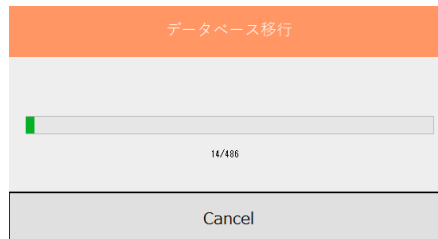
⚠ 既存のデータベースファイルとドッキングする場合以外は“新規にデータベースファイルを作成”を選択してください。また、本システムからエクスポートされたデータベースのみ選択してください。



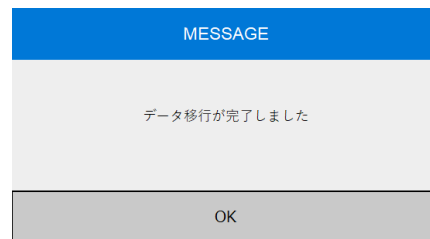
Step 2: ”新規にデータベースファイルを作成”を選択した場合は、保存先と保存名を記入してください。“既存データベースファイルを選択”を選択した場合は、既存のデータベースを選択してください。

⚠ 既存のデータベースは本システムからエクスポートされたデータベースのみ選択してください。

Step 3: プログレスバーが進み、データ移行が完了しましたとメッセージが出れば終了です。



プログレスバー



データ移行完了

#### 12-2-6. USB ポート固定

立ち上げ時に USB ポートを固定することにより、都度選択する必要がなくなります。

また、固定の解除も可能です。固定する際は、1 を選択してください。解除する際は 2 を選択してください。

⚠ 固定後にポートの割り振りが変わった場合、ソフトウェアが立ち上げられなくなります。



COM ポートの割り振り

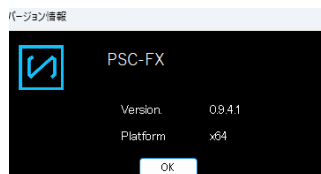
## 12-3. 一般

### 12-3-1. 言語設定

言語を選択可能です。対応言語は日本語、英語、中国語です。（未対応含む）

### 12-3-2. バージョン情報

ソフトウェアのバージョンを表示します。



バージョン情報

### 12-3-3. パスワード設定

現在のパスワードを入力後、新規パスワードを2度入力してください。

一致しない場合は、パスワードの変更が出来ません。

🔔 パスワードは大切に保管してください。復元できません。

### 12-3-4. マニュアルダウンロード

マニュアルを選択された場所に保存します。

## 13.保証

---

ご購入日（納品書の日付を起点とする）より1年間、各国の法律または特定の規則に則り、修理、もしくは最大現品交換として対応致します。

通常の消耗や、機器のあらゆる改造、不適切な使用に起因した損害は保証対象外となります。

追加訴求は対象外となり、法令に基づいた対応となります。

ご購入日より1年を経過した後の保証は原則、有償対応といたします。

## 14. お問い合わせ

---

製品のお問い合わせは販売店、もしくは当社までご連絡ください。

株式会社コスモネット

【本社】

TEL:03-5744-6626 FAX:03-5744-6630 E-mail:info@cosmonet-jp.com

【三重営業所】

TEL:059-327-5841 FAX:059-327-5840